

令和2年5月13日 部長会議 会議録（要旨）

●日 時 令和2年5月13日（水）午前9時00分～午前9時55分

●会 場 市役所 応接会議室・庁議室

●出席者 市長、副市長、教育長、総務部長、企画政策部長、市民環境部長、健康福祉部長、次世代支援部長、経済部長、経済部企業立地担当部長、建設部長、議会事務局長、教育部長、総務課長、総合政策課長、財政課長、秘書広報課長、秘書係長

1. 開 会

2. 市長訓示

- 明日（5月14日）、新型コロナウイルスの緊急事態宣言について、34県が一斉に解除される予定となっている。今後、対応が大きく変わる可能性がある。
- 特別定額給付金申請書の発送事務については、休日に述べ200人を超える職員に出勤してもらった。私宛に約30件のお礼の言葉が寄せられている。職員の努力に感謝したい。
- 本日10時に、保育園・幼稚園児約2,000人にマスクを配布する。子どもたちにとっても安全な環境を整える必要がある。
- これから梅雨の時期に入る。コロナウイルスが蔓延している時期に大雨が降ることを心配している。県では車で避難できる場所を公表する予定となっている。市としても梅雨には、千曲川の増水も考えられるので、災害対応をしっかり進めてほしい。

3. 会議事項

（1）企画政策会議の現況等について【企画政策部】

◆説 明【資料1参照】

- 今年度に新設を予定している企画政策会議は「行政経営効率化会議」で、財政の悪化、慢性的な人手不足に対応するための抜本的なシステムの見直しを検討する。AIやRPA等を取り入れたスマート自治体に向けた調査、研究を行う。
- 既存の企画政策会議のうち「廃棄物処理」と「社会保障・税番号制度導入推進」については、解散し、「日本遺産認定」と「『道の駅』建設構想」については継続したい。
- 本日の部長会議において継続と解散の承認をいただきたい。

◆主な意見・質疑等

- 解散とする企画政策会議は、いつ解散となるのか。
【回答】この部長会議で承認いただければ、本日付で解散となる。
- 「廃棄物処理」について、関連事業の公園整備は終了しているのか。
【回答】個々の事業については、庁内調整会議で進めていく。
- 「社会保障・税番号制度導入推進」を解散するということだが、マイナンバーカードをどう使うかがこれから重要になる。今、解散してよいのか。
【回答】企画政策会議設置の目的であった社会保障・税番号制度導入の基盤整備ができたため、

一旦解散したい。運用面に関する各種サービスが、マイナンバーカードにどのように組み込めるのかについては、別の企画政策会議等の組織を立ち上げて検討したい。

○マイナンバーの「通知カード」が廃止になるが、どのような影響が出てくるのか。マイナポイントの準備についても心配だ。

【回答】国の制度の変更により、「通知カード」が廃止になるため、手数料条例の改正を6月議会に上程する。マイナポイント等の課題についても、新たな組織で各課の協力を得ながら検討したい。

○部長会議の諮問機関としての「企画政策会議」は、いつでも設置できる。作業チームレベルであれば、調整会議でも対応できる。準備を急ぐということだと思う。

◆協議結果

○提案のあった企画政策会議の継続・解散は承認。

○「社会保障・税番号制度導入推進」は解散するが、今後の運用面の課題については別の組織で研究することとし、新たな企画政策会議の設置が必要であれば、部長会議で決定する。「日本遺産認定」については、認定結果が5月中に出るので、結果を受けて部長会議で協議する。

○マイナンバーの「通知カード」が廃止になるため「マイナンバーカード」の取得推進を図る。

（2）令和元年度職員提案について【企画政策部】

◆説 明【資料2 参照】

○昨年度に職員から募集した政策や事務改善の提案については、令和元年東日本台風や新型コロナウイルスの影響で、集約が遅れてしまった。

○昨年度は、政策提案が6件、事務改善が17件、合計23件の提案があった。判定（案）について検討いただき、意見があれば5月20日（水）までに総合政策課へ連絡をいただきたい。意見がない項目は原案どおりとし、意見があった項目は、5月28日（木）に開催予定の部長会議で審議をいただきたい。

○現在の「千曲市職員提案規程」では、所管は総務課となっているが、今後は総合政策課が所管し、政策提案については実施計画に結びつけたい。

◆主な意見・質疑等

○「弁護士資格のある職員の採用」については、かなり厳しいと思う。弁護士は知識だけでなく経験が必要な仕事。長期に渡って訴訟に携わっていないと対応ができない。そのような方を採用するということは非常に難しい。高度な仕事に対応できる人材ほど足りなくなっている。アウトソーシングの時代になってきており、専門の方に仕事ををお願いする方が、内製化するよりも費用が少なく効率的にできると思うので、よく検討してほしい。

【回答】承知した。

◆協議結果

○了承。

4. 各部長からの報告事項等（主なもの）

【総務部長報告】

○特別定額給付金の申請書発送準備について、5月9日（土）、10日（日）に各課職員の協力を

いただいた。11 日（月）に申請書を発送し、受付も既に始まっている。今後の状況によっては、受付事務について各課職員の協力をお願いしたい。

○新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が、5 月 14 日（木）に一区切りになる予定。対応の見直しが必要になるため、15 日（金）に対策本部会議を開催する。公共施設や学校の再開等について協議したいので、準備をお願いしたい。市としての統一見解を出したい。

【市民環境部長報告】

○台風災害による公費解体が5月7日（木）に始まった。

【健康福祉部長報告】

○千曲市社会福祉協議会支部からの台風災害見舞金について、これまでは床上浸水の世帯に給付されていたが、この度、市の対応と同じく床下浸水の世帯にも給付されることになった。支給額は1件3,000円で、6月中の給付に向けて準備している。

○新型コロナウイルス感染症について、5月14日（木）に国の方針や県の方針が示されると思う。もし緊急事態宣言が解除された場合、国・県の要請が弱まるので、市としての予防対策をまとめて、15日（金）に開催する対策本部会議で提案したい。

【経済部長報告】

○あんずの実の収穫状況について、森地区は例年の3割減で、更級地区は大きな被害はない。過去10年と比較すると、実の単価は倍になっている。来年から一箱における出荷の規格が変更になるため、流通量は増えるとJAから報告を受けている。JAあんず部会では、5月18日（月）以降、順次、森、更級を含めて巡回調査に入る。

○農林課所管の排水機場の燃料であるA重油の保存は、3か月が目安とされている。3か月を超えてストックすると、フィルターの目詰まり等の不具合が生じる。このため、あまり早くからは確保できない。各排水機場は、最長で3日間の連続運転が可能な状況になっている。

◆主な意見・質疑等

○A重油は3か月を経過すると、入れ替えなければいけないということか。

【回答】そのとおり。

【建設部長報告】

○平時のA重油は、できるだけ市内のガソリンスタンドから購入している。しかしA重油は、市内のガソリンスタンドに貯留していないため、依頼してから1週間程度時間がかかる。このため、今年から緊急時には、夜間であっても、県が協定を結んでいる新潟燃焼株式会社長野支社から配給していただけることになった。

○事前にA重油をドラム缶に貯留するとしても、消防署に届出をし、貯留施設を設けて管理していかなければならず難しい。粘度の高い燃料なので、通常は燃料車が来てポンプにより圧送して給油する。しかし、ドラム缶から電気ポンプで給油すると非常に時間がかかってしまう。雨宮排水ポンプ場のタンクには5,000リットル入り、37時間連続運転が可能。伊勢宮排水ポンプ場には1,700リットル入り、12時間の連続運転が可能で、尾米排水ポンプ場には同じく1,700

リットル入り、18時間の連続運転が可能となっている。

○排水ポンプ場の点検管理業務については、4月13日（月）から11月30日（月）までの期間で契約が済んでいる。また、4月中にポンプの試運転を行っており、今週中に現場担当職員が操作確認作業を行う。例年、地元区の見学会を行っているが、今年はコロナ禍であるので、延期した。

◆主な意見・質疑等

○緊急時には、県の協定によりA重油の供給を行うということだが、他市町村でも必要となっている場合に、県は優先順位をどのように判断するのか。平時は市内のガソリンスタンドから購入してもよいが、災害時には、市が独自に企業と協定を結んでおけば、優先的に供給してもらえるのではないか。

【回答】検討する。

○霞堤にトンパックを置くことについて説明をお願いしたい。

【回答】現在、霞堤からの水の流れについてシミュレーションを行っている。その中で、トンパックをどこに置いたら一番効果的かを検討している。遊水地については、5月中に改めて地元区長への説明会を予定している。

○梅雨の時期に千曲川の増水が心配だ。昨年の災害と同じことを繰り返さないために、トンパックをできるだけ早く置かないと、住民の不安を払しょくできない。今はいつどんな雨が降るかわからない。事前の準備は速めてほしい。

【回答】承知した。

【議会事務局長報告】

○5月7日（木）に総務文教常任委員会を開催し、学校関係を中心にコロナ対策について調査した。現在、小中学校を5月31日（日）まで臨時休業としているが、議員からは、子どもの学力低下が心配されるため、弾力的に対応してほしいという意見が多かった。

【教育長報告】

○学校の臨時休業については、正式には5月15日（金）の対策本部会議で決定するが、方向としては、緊急事態宣言が解除された場合は、1週間前倒しにしたい。18日（月）からの1週間は分散登校とし、25日（月）からは給食ありの半日登校としたい。給食については、5月末まで簡易給食とし、献立を工夫することで配膳時の感染リスクをできるだけ避けたい。

5. 閉 会